

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 31 回会合 議事録

ご注意：

- ご参加いただいた方はすべて議事録にお名前とご所属が掲載され公開されます。
- ご発言の際は以下をご了承の上ご発言ください。
 - 本会合での発言内容はすべて録音・録画されたうえで公開されます。
- ビデオをオンにされますと、ミュートしていても顔映像が録画公開される場合があります。

開催日時： 2023 年 2 月 27 日(月)17:00-19:06

開催場所： オンライン開催

主催： 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

参加者（五十音順・敬称略）：

石田 壮一	NTT フィールドテクノ	西潟 暢央	総務省
加藤 久美子	さくらインターネット株式会社	根津 智子	JPNIC
加藤 幹之	MK Next	野村 美佐子	支援技術開発機構
上村 圭介	大東文化大学	浜田 忠久	JCAFE
河内 淳子	IGF MAG	本田 聖	個人
木村 孝	JAIPA	望月 俊晴	総務省
Suga Yuji	Internet Initiative Japan Inc.	森口 友里	株式会社インターリンク
田畑 伸哉	総務省	森下 大	総務省
玉置 奈那	総務省	山崎 信	JPNIC

参加者数：18 名

司会進行： 加藤 幹之

議事録作成： 山崎 信

資料：

1. [IGF 2022 報告会アンケート集計結果](#)

アジェンダ：

1. 本日の打合せの目的確認 [5 分]

- IGF 2023 ホスト(政府)としての検討状況報告
- IGF マルチステークホルダー諮問グループ(MAG)からの報告
- 日本 IGF タスクフォースからの報告
- IGF 2022 報告会の振り返り
- NRI としての連絡先
- 今後の活発化チーム会合で扱う内容および開催頻度
- 活発化チーム会合の主催

2. 前回議論の振り返り [5 分]

- 第 30 回会合の概要：[第 30 回アジェンダ案+議事録案](#)

3. 宿題の進捗確認 [5 分]

[IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム todo 一覧表](#)を参照のこと

4. IGF2023 ホスト（政府）としての検討状況報告（飯田） [5 分]

- 飯田さんおよび同部署の方々の参加がなかったためスキップ

5. IGF MAG からの報告（河内） [5 分]

- 今週遠隔会議開催
- 来週オーストリア・ウィーンで[公開コンサルテーションと対面 MAG 会議](#)開催(3/8-10)

6. [日本 IGF タスクフォース](#)からの報告（加藤または立石） [10 分]

- 2/7 に開催された第 4 回運営委員会について共有
 - IGF2023 Call for Thematic Input 提出内容
 - テーマ分野の選択：
 - Universal Access and Meaningful Connectivity
 - Environmental Sustainability and Climate Change
 - Our Common Agenda: #7 Improve digital cooperation が最も関連
 - IGF での議論内容の数量分析を提案
 - メインテーマ助言（以下は提案されたアイデアの羅列）
 - インフラ/ライフラインとしてのインターネット
 - 文化的多様性
 - 持続可能性
 - 平和のインターネット
 - 誰でも(everybody/everyone)
 - Internet for better life

- Internet for happiness
- Ethical use of Internet
- One Internet
- WG
 - 内容に関するもの
 - 包摂 inclusion
 - インフラ infrastructure
 - プラットフォーム platform
 - SDGs
 - 運営関連
 - 参加管理 participation management
 - 参加働きかけ outreach
 - 教育 edu

7. IGF 2022 報告会の振り返り [10 分]

- 参加者数：現地 9 名、遠隔 35 名
- アンケート集計結果：資料 1 を参照のこと

8. IGF 2023 の広報（活発化チームとして） [10 分]

9. NRI としての連絡先 [5 分]

- 対 NRI リエゾンとしての有志を募ったところ、3 名（加藤、河内、山崎）よりボランティアの申し出があった。(igf2021:1148)にて、2 月 10 日より 7 日間ラストコール期間となったが、その間に特にコメントはなかった。
 - Japan IGF コーディネーショングループ(CG)のチャーターを確認し、CG メンバーを交代するのか、権限を活発化チームに渡すのか、CG を廃止するのかを決めるべきではないか
 - CG の同意を取るプロセスが必要ではないか
 - IGF 事務局が開催した NRI セッションにオブザーバーとして参加
 - 会期中 NRI Coordination Session ([2022 年に開催されたセッション](#)) を毎日 1 枠、90 分枠で開催予定
 - どのように日本から参加するかを考える必要あり

10. 今後の活発化チーム会合で扱う内容および開催頻度（前回からの継続議論） [10 分]

- 今後、管理・連絡的なことに加え、（できれば）毎回、1 時間程度具体的なテーマについて意見交換する場とするのはどうか（以下、今回会合で出た意見）
 - 活発化チームの業務範囲の棚卸が必要ではないか
 - NRI セッション準備を核にするのもありなのでは（そうすれば広報なども自然に付いてくるはず）
 - 内容について扱うこと自体はコンセンサスが取れたのではないか
 - 現状のままではチームが広がらないのではないか

- 内容 1 時間、ロジ 1 時間と必ずしもする必要はなく、柔軟に時間配分してもよいのでは
- IGF2023 のスケジュールから逆算して何を企画するのか、が第一で、内容／サブスタンスの話はその次となるのでは。todo／優先順位を考えてはどうか。
- テーマの動きを見ながら議論する内容を決めればよいのではないか。
- NRI コミュニティと付き合うにはリソースが必要なので予め見込んでおく必要がある。
- 内容／サブスタンスを扱うこと自体には反対は呈されていないが、実施体制が決まった時点で内容を扱うようにするのが現実的ではないか

(以下、前回会合で提起された意見)

-
- 活発化チームの目的とずれているのではないか
 - 我々の知見を高めることは、本チームの目的ではないのでは。
 - 知っている人に知っているテーマを話しても、IGF への集客につながらないのでは。
 - 具体的なテーマについての意見交換により、新しい人を集める機会となるのではないか
 - IGCJ の経験では、テーマが尽きて人が来なくなった。喋れる人が喋る、では人は来ない。
 - 管理運営 1 時間、具体的テーマ 1 時間議論の想定
 - この半年で NRI 立ち上げをしなければならぬことを考えると、管理運営に関する議論の時間が 1 時間では足りないのでは。
 - 管理運営の議論の場と、具体的なテーマについての意見交換の場は別の日程としてはどうか。
 - 必要であればチャーターも改定し、引き続き次回、次々回会合で議論して 4 月の会合から新しいフォーマットとしたい
 - テーマと登壇者を探してきて交渉したりする部分の労力が最も大変だが、そこを事務局に全部丸投げはすべきでない
 - テーマ・登壇者探しのための小委員会を作る必要がある

-
- 活発化チームの会合開催頻度を、3 週間毎ではなく、原則 1 か月に 1 回程度としたい
 - 1 ヶ月に 1 回とした場合は、臨時会合の開催を妨げないようにすべき

11. 活発化チーム会合の主催（前回からの継続議論）[10 分]

- 日本 IGF タスクフォースに JAIPA、JPNIC がメンバーとして入った今、活発化チーム会合の主催が両団体のままでよいか
 - 継続議論とする、当面は両団体主催とする

(以下、前回会合で提起された意見)

-
- 経緯も含め検討し、次回会合で議論する
 - 両団体について、「主催」の代わりに別の用語「共催」「協賛」「後援」などを検討してもよいのでは

12. 本日の議論を受けた Todo 確認 [5 分]

- Japan IGF CG のチャーターを探し可能な範囲で共有する（上村）
- NRI 連絡係の 3 名が、NRI 会議関係で新たな情報があれば共有する（加藤、河内、山崎）

13. 次回打合せについて[5 分]

- 次回アジェンダ（たたき台）
 - IGF2023 ホストである日本政府としての準備状況の進捗報告および共有
 - IGF MAG からの報告
 - 日本 IGF タスクフォースからの報告
 - 今後開催するイベント
 - 意見交換テーマ
 - IGF2023 ユース活動
 - IGF2023 広報活動の進捗状況
- 次回打合せの開催時期
 - 3 週間おき開催を維持する場合の候補日時：3 月 20 日(月)17-19 時←今回のみこの日程とする
 - 4 週間おき開催となった場合の候補日時：3 月 27 日(月)17-19 時

14. その他

- [IGF 2023 Youth Track](#) への日本からの参加について

以上